

SSKU

コイノニア通信



編集 No.67

発行日 2020.4.12

就労支援事業所

コイノニア

編集責任者 佐藤 敏則

〒203-0033 東久留米市滝山5-1-16

TEL 042-470-9009

福祉的就労（福祉サービス）とは、

障害福祉において、2018年4月の障害報酬改定により、事業者が受け取る報酬は、A型の場合、障害者の平均労働時間が長いほど高くなるように、B型は障害者の平均工賃が高いほど高くなるように改定された。この改定が影響して、賃金・工賃が全国平均で上がって良かったと思われるが、就労継続支援B型の工賃支払いを考えると、事業所は、生産活動に従事している利用者に、事業収入から事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支払っています。実際には、福祉的就労は、訓練の場であり、就労の場である。そして、福祉サービスである。単純に就労の場であれば、収益性の高い事業を実施することで高い工賃を支払うことだけをめざすが、訓練であり、福祉サービスであるから、すべての利用者の作業能力や障害特性に応じた内容を選択せざるを得ない。また利用者の高齢化・重度化が進むなかで、多様なニーズに対応しようとすればするほど、事業所としては職員の負担が重くなり、収益の確保は難しい。その結果、すべての利用者が低賃金での就労を余儀なくされている。制度改革では、高工賃の事業所を高く評価するなど成果主義的な方針が示されているが、事業所の自主努力だけでは限界がある。原材料の度々の値上げに対しても、地域においては少子高齢化により購買力の低下も影響しているため、商品に値上げ分を転嫁が難しい状況にある。さらに、新型コロナウィルス感染の拡大による影響が長期化すれば、収入が激減することになります。利用者の工賃に影響が出ないようにしたいが、感染の拡大の状態が続ければ事業所自体の経営状況が厳しくなります。売上減賃金補填を含む新型コロナウィルスの影響による早急な公的支援が必要です。

【きょうされんの障害福祉についての法制度拡充を求める請願】

第43次国会請願署名・募金運動キャンペーン展開中です。（4月末まで）

現在すすめられている「全世代型社会保障改革」では、社会保障における給付と負担の見直しが検討されており、国民にさらなる負担が強いられることで、憲法25条で保障された生存権がますます脅かされつつあります。「応援したい！」と感じられたみなさん、できるところからの応援お願いします！

散歩していた時、ふと道の脇に咲いていた「タンポポ、わたげ」を見つけました。とても、きれいでした。今さらと思われるかもしれません、ずっと新型コロナウィルス感染のことばかり考えていて、周りの状況が見えていませんでした。一時、嫌な思いから救ってくれた「タンポポ、わたげ」に感謝！

（施設長 佐藤 敏則）



新コロナウイルスに負けないために

1、「一人がみんなのために、みんなは一人のために」を合言葉に対処していきましょう。

世界中が経験したことない新型コロナとの戦いが始まっています。厚生労働省は3月23日、国民の皆様へのメッセージを発表しました。（別紙参照）これまで確認されてきたことについて整理をしてみました。

◎新コロナウイルスの主な感染の仕組み

- ・感染者の飛沫により他に感染する ⇒直接口、鼻、目から。
- ・また付着した飛沫を手で触った場合、その手から ⇒口、鼻、目から感染。

○新コロナウイルスから身を守る、自分でできること

- ・行動範囲を自主規制する（三要素の重なった所に行かない）
- ・マスクを使う

（マスクの外側には触らないこと）

- ・体力保持を大切に（栄養、睡眠）
- ・手洗いが最優先の課題

コイノニアに来た時

各種訪問先で、帰宅した時

- ・咳やくしゃみをする際にエチケットを守る

○マスクの効能

- ・病院を訪ねる時は必ず着用
- ・人ごみに出るときは必ず着用
- ・自分が風邪気味の時は必ず着用（他の人に移さない配慮）

○感染したと思われたとき、次の二項を目安に、保健所にある「帰国者・接触者相談センター」に相談する。

①風邪の症状や37.5℃以上が4日以上続いている。

②強いたるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ただし、高齢者や基礎疾患等のある方は、その状態が2日つづく場合。

なお、現状ではPCR検査体制は、保険が使えるようになったがほとんど進展していません。早急に改善することが政府に求められています。

2、障害を持った人をはじめとして暮らしを守る体制を国や自治体の責任で整備させましょう。

くらしの面でも深刻な影響が出てきています。リーマンショック以上と言われていますが、その理由は、消費税増税で経済がさらに委縮してきたところへコロナ災害です。リーマンショックは金融危機だけでしたが、今回はそれに加えて、実体経済が委縮していることです。政府の大型の抜本的経済対策、いわゆる経済的弱者や、中小零細企業を優先した援助が欠かせません。

きょうされん（障がい者の事業所の連絡会）は国と東京都に、マスク・消毒液の支給や利用者の事業所利用のお休みによる減収対策、職員の休職等への人件費助成などの緊急の支援を要請しています。（別項参照）

2020年3月25日

コイノニア 理事長 井口 信治

新型コロナウイルスに関連した患者等の発生について

（厚生労働省 HP より、2020年3月23日公表分）



◆国民の皆様へのメッセージ

○国民の皆様におかれでは、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、ハンカチ、袖などを使って、口や鼻をおさえる）や手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

○風邪症状があれば、外出を控えていただき、やむを得ず外出される場合にはマスクを着用していただくようお願いします。

○次の症状がある方は（1）（2）を目安に「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

（1）風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

（2）強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

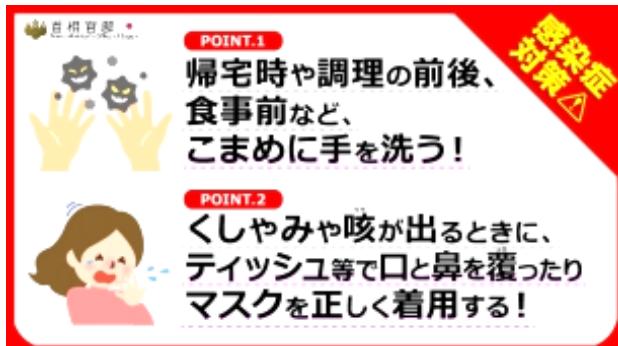
センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介しています。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

【相談後、医療機関にかかるときのお願い】

○帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することはお控えください。

○医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケットの徹底をお願いします。



新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望書

新型コロナウイルス感染症が猛威を奮っています。また、その対策に関しては、休校の影響に対する配慮がないままに一方的に示された国の休校要請など、地域では様々な混乱が生じています。

きょうされん東京支部では、以下のような緊急要望書を都知事あてに提出しました。

2020年3月6日

東京都知事
小池百合子 殿

きょうされん東京支部
会長 青柳 浩一



新型コロナウイルス対策に関する緊急要望書

日頃より、障害福祉に多大なるご尽力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行拡大が都民の間に不安と混乱を広げています。障害のある人は平時から健康面や精神面の不安を抱えている場合が多く、また、万が一罹患した場合には相当な健康被害が及ぶ可能性が高いと考えられます。一方、障害福祉サービス事業所では対策を講じながら一方で障害のある人のくらしを支える活動を懸命に継続しています。

こうした目下の状況を踏まえ、障害のある人の命とくらしを守る観点から、下記の点を要望いたします。

I 都の責任で対応を求める事項

1. 予防のための措置について

- 障害福祉サービス事業所や障害のある人の家庭に対しても、マスク、消毒液等予防のために不可欠な物資を優先的に供給してください。特にマスクについては、各自治体で災害用に備蓄しているものを配布するよう自治体に要請してください。

2. 検査及び治療について

- 重症化が懸念される障害のある人や高齢者等も優先的にPCR検査を受けることができるようにしてください。
- 障害のある人の感染が確認された場合に速やかに適切な治療を受けることができるようになるとともに、グループホームや入所施設等で集団での生活をする人が感染した場合にも優先的に入院できるようにしてください。

3. 事業所や障害団体等への支援について

- 共同生活援助における都加算制度や体制強化支援事業等について、都道府県等からの要請を受けた休業や市町村の判断で障害のある人が休所する場合には、報酬の扱いと同様に利用した場合と同様の補助を行なってください。また、障害のある人や事業所が自主的に休所や休業の判断をした場合や電話での相談等居宅以外での支援についても補助の対象としてください。
- 障害福祉サービス事業所における生産活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大で大幅な縮小を余儀なくされており、工賃等の支払いが困難になる事態が懸念されます。新型コロナウイルス感染症の影響による生産活動の損失を補填するための措置を講じてください。

- 小中高等学校等の臨時休校が広がり、子育て世代の支援員等が出勤できない等、障害のある人への支援の現場で支障が出始めています。新型コロナウイルス感染症の影響で働くことができなくなった人への所得保障や支援員不足を補うために新たに雇用した事業所への人件費の補填のための措置を講じてください。

4. 対応の統一と最適化について

- 特別支援学校、学級については、都立、区立、市立等設置主体で対応が異なり、様々な混乱が生じています。休校による影響に何ら配慮がなされないまま、一方的な休校要請を行った国の対応に端を発していますが、通学できないことによる不安定な生活は障害のある児童や家族に様々な影響を及ぼし、期間が長くなればなるほどその影響が懸念されます。早急に都として状況を把握し、可能な限り対応を統一し、最適な対応となるよう各自治体に指導を行なってください。
- 新型コロナウイルス感染症による障害福祉サービス事業所や障害のある人の家庭の実態把握を行なうよう区市町村に指導してください。

II. 国に対し、都から要望してほしい事項

- 本年2月20日付の厚生労働省社会・援護局からの都道府県に対する事務連絡では、都道府県等からの要請を受けた休業や市町村の判断で障害のある人が休所する場合には、居宅等で支援をしたと市町村が認めれば報酬の対象にできるとなっています。これをさらに拡大し、障害のある人や事業所が自主的に休所や休業の判断をした場合も報酬の対象とするよう国に要望してください。また、電話での相談等居宅以外での支援についても、報酬の対象とするよう国に要望してください。

以上

2020年4月3日

厚生労働大臣 加藤勝信 殿
きょうされん 理事長 斎藤なを子

新型コロナウイルス感染症に係る障害のある人及び 障害福祉事業所等に関する要望書

この度の新型コロナウイルス感染症の流行拡大にかかわって、また平素より、障害のある人の地域生活を促進するために、日夜ご尽力されていることに、敬意を表します。

さて、当会は3月4日付で1回目の要望書を提出し、懇談をさせていただきました。その後、報酬の取り扱いや事務連絡のホームページ上の示し方等について、対応いただいたことに感謝申し上げます。しかし、その後も新型コロナウイルス感染症の流行は拡大の一途をたどっており、障害のある人やその家族、事業所等の間ではさらに不安が広がっています。また、千葉県の障害者入所施設での集団感染の報道に、各方面から「他人ごとではない」といった声が届いており、命の危険を感じる人も増えています。こうした状況を踏まえ、今回は全事業共通の事項に加え、グループホーム及び入所施設等暮らしの場、並びに訪問系の支援の現場に焦点を当て、下記の点を要望いたします。

1. 全事業共通の事項について

- 利用者や職員に感染者が出た場合、各事業所、施設等が対応するための指針を示すこと。また、医療や保健等に関する体制等については地域差があることから、国が示す上記指針の実施について、事前に市区町村と各事業所、施設等が、予防期、発症期、拡大期、まん延期等各段階における、地域の実情に応じた対応について協議するよう、市区町村を指導すること。なお、この点については、暮らしの場である入所施設及びグループホームにおいて一層切実であることから、こうしたところから速やかに実施すること。
- 障害福祉事業所等が新型コロナウイルス感染症の拡大により、報酬の大幅な減少に直面していることから、当面は通常の収入を確保できるよう、特別な措置を講じること。その上で、報酬を日払い方式から月払い方式に見直すことを検討すること。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う報酬の柔軟な運用について、厚生労働省が積極的に検討を進めている内容を実施するにあたり、市区町村ごとで対応に格差が生まれないよう指導すること。
- 障害福祉事業所等に必要な量のマスクや消毒液が届くよう、市区町村や都道府県と連携して実質的な措置を講じること。
- 仮に障害福祉事業所等に一律の休業を政府が要請した場合、障害のある人の介護にかかる家族の負担が増し、家族全員が心身ともに疲れ果て、最悪の事態にもつながりかねない。今後、緊急事態宣言が出される等、より深刻な事態に至った場合でも、障害福祉事業所等に一律の休業要請は行なわず、個別の判断と対応に対して国及び自治体が手厚く支援すること。
- 障害福祉事業所等での集団感染を機に、障害のある人への差別や偏見が広がらないよう、厚生労働大臣から社会に向けてメッセージを発する等、必要な措置を講じること。

2. グループホーム、入所施設支援に係る事項について

- 千葉県の入所施設での集団感染では、感染した入所者を病院に搬送することが困難として、医療設備の整っていない施設での診療を原則としたが、これでは基礎疾患のある場合が多い障害のある人の命は守ることができない。入所施設及びグループホームの利用者が感染した場合に、障害のない人と同等に速やかに入院できるよう、体制を確保すること。
- 入所施設及びグループホームの利用者が新型コロナウイルス感染症対策として、自主的に自宅に戻った場合、または施設等が命にかかる等やむを得ない事情から感染防止のために一時的な帰宅を要請した場合、電話での相談や訪問等多様な形態で支援を実施すれば報酬の対象とすること。その際の請求実務を簡略化すること。
- 入所施設及びグループホームの利用者が新型コロナウイルス感染症対策として一時的に帰宅した場合、居宅介護等訪問系の支援を利用できるようにすること。
- 入所施設及びグループホームは感染が拡大する可能性が高いことから、利用者や職員が新型コロナウイルス感染症の検査を優先的に受けられるようにすること。

3. 訪問系支援に係る事項について

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により通常の訪問系の支援を提供できない場合、電話等による生活上のアドバイス等多様な形態の支援を実施すれば、報酬の対象とすること。その際の請求実務を簡略化すること。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から訪問系の支援を中止せざるを得ない場合が想定され、生活に不可欠な支援が届かなくなる可能性がある。こうした事態の対応について、事前に市区町村と事業所が協議しておくよう、市区町村を指導すること。

以上



「コイノニアを支える会」今年の活動予定

コイノニアを支える会会長 佐藤 勝

昨年はコイノニア創業 20 周年という区切りの大切な一年でしたが、コイノニアの創業者である佐原眞さんが体調を崩し治療のため病院への再入院などで、つらい一年になってしまいました。それでも井口理事長はじめ職員さんの頑張りによりコイノニアの運営も順調に推移して来ています。そして眞所長の不在をいつも寂しく思っていた利用者の皆さんも変わりなくそれぞれの職場で頑張っていたのは幸いでした。

年に4回発行されているこのコイノニア通信は就労支援事業所コイノニアの現場状況を皆様にお伝えする大切な広報誌となっています。今年は私達コイノニアを支える会としてもこの紙面作りに一層支援のため尽力していきたいと思っています。

これから計画しているのは、

- ① 職場の紹介と合わせて製品の PR など、
- ② 利用者さんの声をもっと多く紹介していく
- ③ 職員さんやボランティアの方々へのインタビューなどです。



今回は毎日職場で皆さんが楽しく昼食をとっている食堂の状況をレポートしました。

（次ページにつづく）

八幡町コイノニアでマスクを販売

現在、コイノニアでもマスクや消毒液の不足が問題となっています。食品を扱うため、マスクや消毒液はとても必須アイテムです。そこで、コイノニア八幡では、職員Fさんがお手製の布マスクを製作、八幡町コイノニアに通う利用者さんがお手伝い出来るところは手伝ってもらい、コイノニア全ての利用者さん一人ひとりに洗い替え用マスクと共に配布しました。Fさんの話では今年になってもう300枚以上のマスクを作ったそうです。

コイノニア八幡では利用者さんと共にハンドメイド作品の販売を行っています。お手製マスクも可能な限り、メルヘン（滝山）と八幡町コイノニアで同時販売中。しかし、なかなか終息の目途が立たない新型コロナウイルスが蔓延している中で、マスクはどこも手に入らない状況。八幡町コイノニアでも、Fさんが頑張って作っても作ってもすぐ完売してしまいます。また市場ではガーゼ布やマスク用ゴムなどの商品が品薄となり、仕入れが厳しくなってきております。新型コロナウイルスの早い終息を祈るばかりです。



コイノニア食堂へインタビュー！

コイノニアを支える会会長 佐藤 勝

3月4日コイノニアの職場の2階にある食堂へ食事の準備中、11時に取材に伺いました。

まず最初に長年この仕事をやっていただいている中村さん

（皆からは、お父さんと呼ばれています）へのインタビューです。中村さんと岡本（昌）さんも同席されていました。

Q1. このお仕事をスタートされ何年になりますか？

長いですねー、もう15年以上になるでしょう。

Q2. 毎日何食くらい作りますか？またその準備は何時位からですか？

その日によって違いますが、20～25人分くらいで食材の手配や買い物などで毎朝7時過ぎには職場に来ますよ。

Q3. 食事の献立など大変と思いますが、どのようにされていますか？

メンバーへのアンケートなどで何を食べたいかを知り、それを元にメニュー表を一ヶ月分発表してもらっています。

Q4. このお仕事のご苦労と喜びは何でしょう？

苦労などなく楽しんでますヨ。皆が美味しいと言って喜んで食べてくれるのがなによりのやりがいですね。



中村さんとボランティアのお母さん



ボランティアのお母さんお二人と岡本さん

【ボランティアとして、中村さんのお手伝いをされている利用者のお母さんお二人にもインタビューしました。】

Q1. ボランティア活動のきっかけは何ですか？

それぞれ子供がコイノニアにお世話になっているのでお手伝いしています。

食事のお手伝いは私達2人で週1回やっています。

他にもお掃除や作業のお手伝いなどで数名ボランティアさんがいます。

Q2. お仕事の内容は、またいつも心がけていることは何ですか？

今は中村さんのお手伝いですが、以前はクッキー作りなどもお手伝いもしていました。なるべく利用者さんへの声掛けを常に心がけています。

Q3. 利用者さんの声は如何ですか？

食事は量も内容も十分で大いに満足されていると思います。食べ過ぎて太ってしまい困るとの声もあります。一人暮らしの人が多いのでなるべく野菜を多く取ってもらおうと思っています。

*食事の前11：45から毎日ミーティングを持っています。

司会進行を交代で利用者さんがやり、所長や理事長からの伝達事項などがあります。



令和元年のコイノニア Xmas 会

コイノニアを支える会会長 佐藤 勝

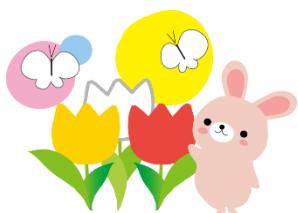
2019年12月14日西部地域センターにおいてコイノニア恒例のXmas会が開催されました。今年はコイノニア創立20周年でいろいろ記念行事が行われて来ましたが、いよいよ最後のイベントになってしまいました。朝から食事やケーキ作りなど各担当は準備に掛かり午後1時の開会となりました。

司会進行の酒井さんから開会挨拶があり、最初は井口理事長から一言、「コイノニア創始者の佐原眞さんは敬虔なクリスチヤンでありその教えはコイノニアの運営の基礎となっていて今日のXmas会も特別なものがあります」との挨拶がありました。続いて佐藤(敏)さんより「施設長の大任を受けてこの半年は勉強ばかりでした。利用者の皆さん他の協力をいただき感謝しています。今後とも宜しくお願ひします」との挨拶がありました。支える会顧問の百瀬さんから乾杯の音頭があり、楽しい食事へと入りました。

食事も一段落の約40分後、支える会の会長佐藤勝より、早くから準備頂いた皆様へのお礼と、日頃コイノニアを支えて頂く沢山の方々への感謝の気持ちを伝え、今年も支える会へ献金頂いた中利用者さんへお年玉として全員へお渡しして貰いました。

2時からはアトラクションに入り、百瀬さんご夫婦による「皆で唄いましょう」では、童謡やXmasソングなど全員で合唱し、その後はダンスチーム三名による楽しいダンスと、佐藤(敏)施設長による「マー君のお話聞いて」には皆さん大爆笑でした。一時間後はお楽しみbingoゲームにリーチ！bingo！など皆さん一喜一憂しながら景品を手にし、一緒に非常食なども配布されました。途中に利用者Nさんの元気の良い演説が入るなどのハプニングもありました。

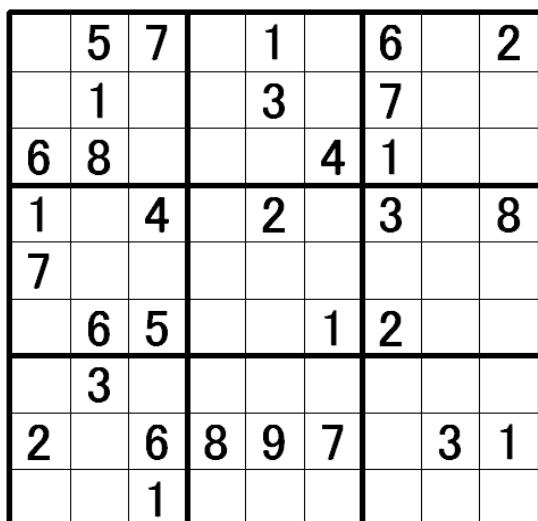
楽しく行われた今年のXmas会も3時半に阿部さんの閉会の挨拶で終了しました。



年が明けて、令和2年1月13日（祝・月）、同じく西部地域センターで新年会が行われ、お食事会と共に合唱や数々のアトラクション、また抽選会などが行われ、楽しい時間を過ごしました。



ナンバーコロスに挑戦



ナンバーコロスの解き方

- ◆マスには1～9の数字がひとつずつ入ります。
- ・すべての縦列と横列(9列ずつ)には、1～9までの数字がそれぞれひとつずつ入ります。
- ・太線で囲まれた3×3のブロック(全部で9個)には、1～9までの数字がそれぞれひとつずつ入ります。
- ◆1ヶ所数字が入るとタテ列、ヨコ列、3×3のブロック(アミマスの部分)には同じ数字は入ません。

全ての解答はP10

■ 見えている目の数のとおりに計算してください。

$$\begin{aligned}
 ① & \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet} = \boxed{\text{解答}} \\
 ② & \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet} + \boxed{\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet} = \boxed{\text{解答}} \\
 ③ & \boxed{\bullet} + \boxed{\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} - \boxed{\bullet\bullet} - \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet} = \boxed{\text{解答}} \\
 ④ & \boxed{\bullet\bullet} - \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} - \boxed{\bullet\bullet} - \boxed{\bullet} - \boxed{\bullet\bullet} + \boxed{\bullet\bullet} - \boxed{\bullet\bullet} = \boxed{\text{解答}}
 \end{aligned}$$



新年会にて金さんのバイオリン演奏



■上の絵にあてはまる三字熟語は何？

おすすめの本
『それでいい。』
細川 貴々



対人関係で心が疲れ、癒やしを求めているのなら『それでいい。』を読んでみてはいかがでしょう。対人関係の「ズレ」と「役割期待」に焦点を当て、自分のネガティブな気持ちを受け入れつつ対人関係に自信を持つ方法を紹介しています。

人に振り回される事が多いと感じる人や、人付き合いや人とのコミュニケーションに苦手意識がある人におすすめです。

コイノニア活動報告

活動報告

2019年12月 1日から

2020年 3月31日まで（敬称略）

- 12月05日 ダスキン 害虫・害獣駆除
 07日 外濠グループと障関連のクリスマス会へ参加（日白聖公会にて）
 09日 職員会議
 14日 コイノニアのクリスマス会
 17日 理事会
 23日 ケア会議
 26日 誕生日会
 27日 大掃除
 他 大腸菌検査実施
 12月28日 冬休み（翌年1月05日まで）
 01月09日 ダスキン 害虫・害獣駆除
 13日 コイノニアの新年会
 14日 職員会議
 28日 ケア会議
 30日 誕生日会
 他 大腸菌検査実施
 02月05日 ダスキン 害虫・害獣駆除
 10日 職員会議
 19日 理事会・コイノニアを支える会
 25日 ケア会議
 27日 誕生日会
 他 大腸菌検査実施
 03月04日 ダスキン 害虫・害獣駆除
 09日 職員会議
 23日 ケア会議
 24日 管理者会議
 25日 理事会
 他 大腸菌検査実施



新型コロナ 予防するには？

■ すぐできる四つのこと



せっけんを使ってきれいに手洗いする



バランスの取れた食事と休養で、体の抵抗力を高める



人混みを避ける



せきやくしゃみをする時、マスクやティッシュで口や鼻を覆う。ティッシュはすぐ捨てる。とっさの時は袖で覆う

人ととの接触 8割減でダメージを最小限に抑えることができる

石鹼で30秒かけてしっかり手洗いをしましょう。

正しい手の洗い方



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこります。



手の甲をのばすようにこります。



指先・爪の間を念入りにこります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

ご支援くださった方々のお名前を
感謝をもって報告させて頂きます。



2019年4月1日～2019年11月末

団体名（敬称略・順不同）

東京女子大学同窓会奉仕グループ、障がい者関連活動連絡会、日本基督教団国分寺教会、東京新生教会、日本聖公会東京教区、日本キリスト教団阿佐谷東教会、聖路加国際病院礼拝堂、日本聖公会東京教区聖パウロ教会、日本基督教団ひばりが丘教会、日本基督教団小平学園教会、日本基督教団むさし小山教会 教会学校、日本キリスト教団白鷺教会

合計 ￥156,000

個人（敬称略・順不同）

島田治夫、永田淑子、佐々木亜子、井波聰、安彦良和・万里、林千尋、戸塚泰子、西山賢治、奥山義明、小川直子、竹崎眞理子、西岡博子、山本保子、大内よし、嶺澄子、三科秀海、中村雄介、佐藤浩次、西本つや子、岡田和子、嶋田安江、小原勇、辻宏、百瀬禮子、中島佐絵子、平山豊穂美、中村良子、岡本由紀子

合計 ￥159,000

P10 のクイズの解答

三字熟語：①朝寝坊、②色眼鏡

③有頂天、④大黒柱

サイコロ計算解答：

①27、②29、③10、④2

3	5	7	9	1	8	6	4	2
4	1	2	5	3	6	7	8	9
6	8	9	2	7	4	1	5	3
1	9	4	7	2	5	3	6	8
7	2	3	6	8	9	4	1	5
8	6	5	3	4	1	2	9	7
5	3	8	1	6	2	9	7	4
2	4	6	8	9	7	5	3	1
9	7	1	4	5	3	8	2	6

メルヘンでは、
美味しいパンやお菓子の
販売をしています。
新メニューも続々登場！
是非、のぞいて見てくださいね。

コイノニアのホームページアドレス<http://h-kurume.shop-info.com/koinonia>

E-mail : koinonia_npo@true.ocn.ne.jp

支える会、入会金・御寄付等は下記の郵便
振替でお願い致します。

振替番号 00140-3-581862

加入者名 メルヘン・コイノニアを支える会

発行元 〒157-0072

東京都世田谷区祖師谷 3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室

特定非営利活動法人

障害者団体定期刊行物協会

TEL: 03-6277-9611

FAX: 03-6277-7555

定価 50円

編集後記

2020年に入り、私達は新型コロナウイルスの脅威にさらされています。今現在、最善を尽くして感染予防や診療などに日夜、業務に従事し地域医療を支えてくださっている医師並びに看護職の皆さん、また医療関係者の皆さんに心より感謝を申し上げます。

とうとう緊急事態宣言が発令に至り、私達ができるることは集団感染が起こる3条件、換気の悪い密閉空間、手の届く範囲に多くの人がいる密集場所、近距離での会話や発生をする密接場面、これらが交わる場所には行かないよう心がけましょう。私達一人ひとりが不要不急の外出を控え、石鹼でこまめに手洗いをし、うがいやマスク着用に心がけましょう。咳エチケットも忘れずに！

通信編集中のとある日、前所長（佐原眞氏）が、立ち寄ってくださいり、しばし歓談できました。お元気そうで何より、職員だけでなく、数人の利用者さんともご挨拶てきて、とても良い時間となりました。皆さまのご健勝を心よりお祈りいたします。